

令和7年度 オリンピック・パラリンピック教育推進事業
実施報告書



学校名【札幌市立 真駒内曙中学校】

【課題1】

1 目標 (ねらい)	「スポーツを通して心身を向上させ、文化や国籍の違いを越えて友情やフェアプレーを育み、平和でより良い世界をめざす」オリンピック・パラリンピックの精神と、その価値に基づくスポーツについて理解を深める。	
2 実施対象者 (学年・人数)	257名(1学年 92名 2学年 89名 3学年 76名) ※4組はスケート学習だったため未受講	
3 展開の方式	(1) 学校における活動 ① 教科名 (道徳) ② 行事名 (オリンピック・パラリンピック講演会) ③ その他 () (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()	
4 取組内容	○指導計画【2時間扱い】 講演会を体育館で実施後、教室で感想を記入。 ○取組の様子 【生徒の感想】 ・様々な思いを背負ってオリンピックに立っているのがかっこいいと思ったし、誰かのためにと思いながらスポーツや様々なことをやるのが大事だと思った。オリンピックに対する期待度が高まった。 ・親族の人などが亡くなってしまったことを通して自身の競技人生に転機が訪れスランプから抜け出したというエピソードが、普通悲しくて落ちてしまうようなところを力に変えていて感動したし、今日から開幕するオリンピックにも関心を持つことができました。 ・改めて、オリンピックに参加してる人は本当にすごくて色々な経験を重ねてきた人なんだなと思いました。しかも、ただただ練習するだけじゃなくてそのスポーツに必要なものをいろんなことをして身につけたりするんだなと知りました！	
5 主な成果	・ノルディック複合という競技についての知識がない生徒が多かったが、講演後の感想をみると、競技やオリンピックへの関心が高まっていた。 ・講演では、ジャグリングやバランスボードなど実演もあり、生徒は楽しみながら最後まで聴くことができた。 ・スポーツについてだけでなく、命の大切さに関わる内容だったのもあり、生徒にとってとても貴重な経験になった。	
6 アンケート結果	アンケート項目 ① オリンピックやパラリンピックについて興味が高まった。 ② 様々な人を理解し、共に生きる大切さを感じた。 ③ 自分が住んでいる地域や札幌のよさを感じた。	学習の実施後 (%) 94.80% 98.30% 91.30%

